



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年11月12日

上場会社名 小池酸素工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6137 URL <https://www.koike-japan.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 康洋
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼管理部長 (氏名) 富岡 恭三 TEL 03-3624-3111
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	21,162	4.8	238	△43.1	368	△34.6	102	△51.8
30年3月期第2四半期	20,184	△1.9	418	△30.5	563	△33.7	213	△36.1

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 △4百万円 (—%) 30年3月期第2四半期 285百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	24.83	—
30年3月期第2四半期	51.54	—

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	54,145	31,209	53.7
30年3月期	55,318	31,528	53.1

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 29,074百万円 30年3月期 29,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	70.00	70.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,500	2.5	1,200	△10.3	1,450	△5.5	700	△7.3	169.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期2Q	4,522,933株	30年3月期	4,522,933株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	384,702株	30年3月期	384,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期2Q	4,138,279株	30年3月期2Q	4,138,919株

※ 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済や欧州経済が堅調に推移し、総じて緩やかな回復の動きが見られましたが、米国と中国の貿易摩擦が世界経済に与える影響が懸念され、先行きは不透明感が強まりました。

一方、わが国経済は、雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなどにより、回復基調で推移しましたが、世界経済の不確実性が懸念され、景気の先行きは予断を許さない状況で推移しました。

当社グループの主需要先である建設業界・産業機械業界では需要に回復の動きが見られ、造船業界では低迷していた市況に回復の兆しが見られたものの、当社の受注環境への影響は限定的なものとなりました。

このような状況のもと、当社グループは創業100周年に向けた「グランド100トライアスロンセール」による拡販活動の活性化に努め、売上高は増加したものの、価格競争の激化などにより、利益は減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は211億62百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は2億38百万円（同43.1%減）、経常利益は3億68百万円（同34.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億2百万円（同51.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

機械装置

機械装置部門においては、「グランド100トライアスロンセール」の一環として拡販活動に取り組むとともに、「2018KOIKEプライベートフェア」などの展示会を開催し、多くの受注を獲得したことにより、売上高は増加しました。

しかしながら、価格競争の激化に伴い利益率が低下したことなどにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は79億87百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は2億42百万円（同44.0%減）となりました。

高圧ガス

高圧ガス部門においては、鉄工・建機関連の需要が復調するなか「グランド100トライアスロンセール」の一環として拡販活動に取り組む、多くの受注を獲得するとともに、医療関連に関する営業強化に取り組む、酸素濃縮器およびCPAPのレンタル契約件数が増加したことなどにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は79億12百万円（前年同期比4.3%増）、セグメント利益は3億41百万円（同14.8%増）となりました。

溶接機材

溶接機材部門においては、「グランド100トライアスロンセール」の一環として拡販活動に取り組むとともに、「こいけ市」などの展示会でのPRや安全講習会の実施により、溶接機・溶接関連商品・安全器の売上高が増加しました。

しかしながら、利益率の高い商品の販売が減少したことなどにより、利益は減少しました。

その結果、売上高は47億23百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益は1億28百万円（同20.0%減）となりました。

その他

その他の部門においては、排ガス処理装置に関する中国での有機ELパネルや大型液晶パネル向けの大型案件を受注したことにより、売上高は増加しました。

その結果、売上高は5億39百万円（前年同期比129.3%増）、セグメント利益は47百万円（同311.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は541億45百万円で、前連結会計年度末比11億73百万円の減少となりました。

流動資産合計は304億12百万円で、前連結会計年度末比11億62百万円の減少となりました。これは主に商品及び製品が4億88百万円増加、主に仕掛品が5億21百万円増加の一方、受取手形及び売掛金が20億31百万円減少したことによるものです。

固定資産合計は237億33百万円で、前連結会計年度末比10百万円の減少となりました。これは主に工具、器具及び備品が90百万円増加の一方、建物及び構築物が1億63百万円減少したことによるものです。

流動負債合計は182億34百万円で、前連結会計年度末比7億63百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億19百万円減少、未払法人税等が1億73百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は47億1百万円で、前連結会計年度末比90百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が1億17百万円減少したことによるものです。

純資産合計は312億9百万円で、前連結会計年度末比3億19百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金が1億86百万円減少、為替換算調整勘定が1億28百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は53.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は79億57百万円で、前連結会計年度末に比べ5億円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは7億48百万円の収入（前年同期は9億21百万円の収入）となりました。これは主に減価償却費と売上債権の回収によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは4億41百万円の支出（前年同期は2億48百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは8億2百万円の支出（前年同期は10億48百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出と配当金の支払があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成30年11月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,021	8,525
受取手形及び売掛金	14,951	12,919
有価証券	449	447
商品及び製品	4,234	4,723
仕掛品	1,126	1,648
原材料及び貯蔵品	1,462	1,593
その他	598	773
貸倒引当金	△268	△219
流動資産合計	31,575	30,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,439	4,276
機械装置及び運搬具(純額)	1,209	1,211
工具、器具及び備品(純額)	340	431
土地	9,437	9,429
リース資産(純額)	1,104	1,141
建設仮勘定	8	84
有形固定資産合計	16,541	16,575
無形固定資産		
のれん	17	19
リース資産	10	17
その他	204	206
無形固定資産合計	232	243
投資その他の資産	6,970	6,913
固定資産合計	23,743	23,733
資産合計	55,318	54,145

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,036	7,617
電子記録債務	3,162	3,050
短期借入金	4,080	4,059
1年内返済予定の長期借入金	417	297
未払法人税等	380	207
賞与引当金	509	446
役員賞与引当金	79	30
受注損失引当金	35	35
製品保証引当金	63	71
建物解体費用引当金	—	45
その他	2,233	2,372
流動負債合計	18,998	18,234
固定負債		
長期借入金	206	89
役員退職慰労引当金	202	213
退職給付に係る負債	166	175
資産除去債務	14	23
その他	4,201	4,199
固定負債合計	4,791	4,701
負債合計	23,790	22,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,028	4,028
資本剰余金	2,354	2,354
利益剰余金	20,310	20,123
自己株式	△920	△920
株主資本合計	25,772	25,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,851	1,871
土地再評価差額金	868	868
為替換算調整勘定	592	464
退職給付に係る調整累計額	307	284
その他の包括利益累計額合計	3,619	3,488
非支配株主持分	2,135	2,134
純資産合計	31,528	31,209
負債純資産合計	55,318	54,145

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	20,184	21,162
売上原価	14,536	15,343
売上総利益	5,648	5,818
販売費及び一般管理費	5,229	5,580
営業利益	418	238
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	50	55
受取賃貸料	83	95
持分法による投資利益	27	28
物品売却益	17	23
為替差益	7	—
貸倒引当金戻入額	22	45
その他	12	37
営業外収益合計	229	296
営業外費用		
支払利息	43	36
賃貸費用	17	24
為替差損	—	98
その他	23	8
営業外費用合計	84	166
経常利益	563	368
特別利益		
固定資産売却益	1	13
投資有価証券売却益	—	0
関係会社清算益	—	4
その他	1	0
特別利益合計	3	18
特別損失		
固定資産除売却損	1	11
減損損失	95	40
建物解体費用引当金繰入額	—	45
その他	0	2
特別損失合計	98	98
税金等調整前四半期純利益	468	287
法人税、住民税及び事業税	214	168
法人税等調整額	25	△31
法人税等合計	239	137
四半期純利益	228	150
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	47
親会社株主に帰属する四半期純利益	213	102

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	228	150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174	18
為替換算調整勘定	△108	△151
退職給付に係る調整額	△9	△22
その他の包括利益合計	56	△155
四半期包括利益	285	△4
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	268	△28
非支配株主に係る四半期包括利益	17	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	468	287
減価償却費	726	709
減損損失	95	40
のれん償却額	8	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25	△60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△59
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	△49
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△10	1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△10	8
建物解体費用引当金の増減 (△は益)	—	45
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8	11
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	26	19
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9	△13
受取利息及び受取配当金	△57	△66
支払利息	43	36
持分法による投資損益 (△は益)	△27	△28
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△1
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
関係会社清算損益 (△は益)	—	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	907	2,187
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△615	△1,258
仕入債務の増減額 (△は減少)	△275	△544
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24	△136
その他	△43	△77
小計	1,133	1,055
利息及び配当金の受取額	69	75
利息の支払額	△49	△41
法人税等の支払額	△232	△341
営業活動によるキャッシュ・フロー	921	748

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△396	△355
定期預金の払戻による収入	594	351
有形固定資産の取得による支出	△441	△467
有形固定資産の売却による収入	14	29
無形固定資産の取得による支出	△10	△51
投資有価証券の取得による支出	△13	△11
投資有価証券の売却による収入	—	0
有価証券の取得による支出	—	△10
関係会社の清算による収入	—	45
貸付金の回収による収入	9	9
その他	△5	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△248	△441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24	59
長期借入金の返済による支出	△309	△236
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△319	△313
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△372	△289
非支配株主への配当金の支払額	△21	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,048	△802
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△421	△500
現金及び現金同等物の期首残高	9,236	8,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,815	7,957

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高压ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,790	7,587	4,572	19,949	235	20,184	—	20,184
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,790	7,587	4,572	19,949	235	20,184	—	20,184
セグメント利益	433	297	160	892	11	903	△485	418

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△485百万円には、セグメント間取引消去65百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△579百万円、棚卸資産の調整36百万円、その他の調整額△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「機械装置」セグメントにおいて、投資額の回収が困難となった該当事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、95百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機械装置	高圧ガス	溶接機材	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,987	7,912	4,723	20,623	539	21,162	—	21,162
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,987	7,912	4,723	20,623	539	21,162	—	21,162
セグメント利益	242	341	128	713	47	760	△522	238

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、燃烧式排ガス処理装置、ヘリウム液化機の製造・仕入・販売が含まれております。

2. セグメント利益の調整額△522百万円には、セグメント間取引消去75百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△624百万円、棚卸資産の調整32百万円、その他の調整額△5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分された減損損失はありません。報告セグメントに配分されていない減損損失計上額は、40百万円であります。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	6,394	102.7
高压ガス (百万円)	107	67.8
報告セグメント計 (百万円)	6,502	101.9
その他 (百万円)	—	—
合計 (百万円)	6,502	101.9

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
機械装置	6,860	128.2	4,638	127.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 受注高及び受注残高につきましては、標準機・部品等の金額を含めておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	前年同四半期比 (%)
機械装置 (百万円)	7,987	102.5
高压ガス (百万円)	7,912	104.3
溶接機材 (百万円)	4,723	103.3
報告セグメント計 (百万円)	20,623	103.4
その他 (百万円)	539	229.3
合計 (百万円)	21,162	104.8

- (注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。